緑のイベント時におけるオープンガーデンの位置づけ

A Study on the Significance of 'Open Garden' in a Greenery Event

野中 勝利*

Katsutoshi NONAKA

Abstract : Obuse town is the first case of 'Open Garden', that is to open the private residential are with well decorated gardens, in cooperation with the administration office. The aim of this study is to investigate the meaning and significance of 'Open Garden' in Obuse town celebration of "flowers and greenery". This study adopted a questionnaire survey among the visitors at the greenery event, and 275 visitors responded. I concluded the following, based on my analysis of the questionnaire results: the addition of open gardens which are open to the public all year round to the event clearly diversified the range of activities available to the visitors. Even those visitors who did not intend to see the open gardens dropped by the gardens during their walks through the town. Although the open gardens which receive many visitors are usually concentrated around tourist attractions, they are distributed across relatively a wide area. Shuttle bus service and the distribution of information through free brochures made it easier for people to visit the open gardens. The synergy between the greenery event and 'Open Garden' led to the diversification of the activities enjoyed by the visitors, and, as a result, the event was enriched.

Keywords: open garden, visitor, behavioral characteristic, Obuse town

キーワード: オープンガーデン, 来訪者, 行動特性, 小布施町

1. 研究の目的と方法

各地で花や緑をテーマとしたイベントや事業が行われている。適切な季節の特性という性格から、多くは期間限定となり、その間に各種の催しが開かれる。

オープンガーデンもそのうちの一つである。オープンガーデンは、一定の地域内で、指定した公開日時に私的庭園を開放し、特定あるいは不特定の観賞者を受け入れる仕組みである。ガーデニングの愛好家仲間が中心となって進めているケースもあれば、自治体が事務局となって運営しているケースもある。また期間や観賞者を限定する場合や限定しない場合もあり、その形態は様々である。

本稿で取り上げる小布施オープンガーデンは、町役場が事務局となり運営しているオープンガーデンであり、2000年から始められた。事務局が毎年ガイドブックを作成し、現在ではそれを有償頒布している。そこに掲載されている公開庭の情報を見ると、観賞期間は概ね「春～秋」、あるいは「通年」となっており、特に公開日時を限定していない。また観賞にあたっては事前連絡を必要としていない。不特定の観賞者をほぼ通年的に受け入れることになる。

一方、小布施町では緑をテーマとしたイベントを毎年のように行っている。特定日に町内各地で花・緑関連の各種の催しを集中させ、誘客を図っている。2004年は、町制50周年を迎え、9月25日（土）と26日（日）の二日間、農産物や加工品、花の直販、ガーデニングめぐりなどの催しを集中させた“信州おぶせ緑のかけ橋まつり”（以下、「緑のまつり」と略すことがある）を行った。小布施町での緑関連のイベントでは年間最大の規模であり、特に来訪者が集中する。

オープンガーデンは「緑のまつり」の各種イベントのうち、「おぶせ花めぐり」と称して、そのうちの一つに位置づけられている。すなわち期間限定のイベントの中に、通年的な仕組みであるオープンガーデンが含有されていることになる。

またこの二日間に限り、町内をまわる環状線と中央線の二路線のシャトルバスが運行された。公共駐車場、駅、イベント会場や主要観光施設はもとより、町内に散在する公開庭巡りのために来訪者の便宜が図られている。バスは有料であるが、一般住宅地などにも多い公開庭への訪問では公共交通機関がなく、またそのための駐車場が設けられていないため、公開庭巡りに対する利便性は高い。したがってこの二日間は、オープンガーデンを主目的とした来訪者ではなく、目的としていなかった来訪者も、イベントや観光拠点巡りの中でオープンガーデンによる公開庭を観賞することが想定される。

通常は、オープンガーデンの公開庭を観賞するには、当該年度に発行されたガイドブックを入手する必要がある。特に公開庭は年によって多少の増減があり、最新のガイドブックによる情報入

表ー1 “信州おぶせ緑のかけ橋まつり”のイベント概要

名称	場所	主な内容
六次産業まつり	総合公園 (芝生広場物産デパート) 6次産業センター	・ブドウ、リンゴ、栗などの販売 ・花苗、切り花等の販売 ・小布施丸ナス、豆加工品などの販売 ・農業機械展示試乗体験 等
花とガーデニング	おぶせ花めぐり	町内
	いやしの花	総合公園 (芝生広場)
	花飾り・ガーデニング 大楽校	総合公園 (中央テント、ステージ等)
都市農村交流まつり	おぶせフラワーセンター	・ブドウ、リンゴ、栗などの収穫体験、郷土食づくり ・ブドウ、リンゴ、栗などの販売
農産物販売まつり	町営南駐車場	・農産物の販売
秋の洋ラン展	フローラルガーデンおぶせ	・洋ラン展

注) パンフレット及び小布施町役場資料より作成

*筑波大学大学院人間総合科学研究科

手が必要なためである。2004年版のガイドブックである『小布施オープンガーデンブック 2004』（以下、『ブック』とする）は、有償（200円／冊）であり、公開庭の観賞が明白な場合にこれを購入し、その情報を入手することになる。ところが、この「緑のまつり」に関しては、B3判両面のパンフレット中の町内地図には、イベント開催場所の位置に加え、公開庭の位置も記入されている。このパンフレットは無料であり、ほとんどの来訪者が手にすることが見込まれ、パンフレットを読めば、公開庭めぐりが容易になる。個々の公開庭の情報量は、『ブック』に比べれば少ないが、観賞時における注意事項や公開庭の見ごろの季節が色別に示され、来訪者への最低限の情報が提供されている。

そこで本稿ではこの「緑のまつり」開催日の来訪者の目的や行動等から、このイベント時におけるオープンガーデンの意義や位置づけを明らかにすることを目的とする。

これまでオープンガーデンに関する研究として、小布施を対象としてその効果と課題が明らかにされている¹⁾ほか、オープンガーデンの意義²⁾や経済効果³⁾についての既往研究がある。ただし関連する事業との関係からみた意義や位置づけは明らかにされていない。

一方、小布施を対象としてオープンガーデンによる公開庭の観賞者の行動特性を明らかにした先行研究⁴⁾がある。オープンガーデンによる公開庭の観賞者を対象として、『ブック』に添付した葉書によるアンケート調査による研究（以下、『ブック』調査、とする）である。この『ブック』調査は、有償である『ブック』を買い求めた、公開庭の観賞を主目的とした来訪者を対象としており、本研究の対象者とは異なる。特に『ブック』調査における分析対象者には、「緑のまつり」開催日での来訪者が含まれていないことが確認され、明らかに区別できる。また「緑のまつり」の各種イベントの一つに位置づけられ⁵⁾、シャトルバスの運行や無償のパンフレットによる情報提供など、通常期のオープンガーデンとは異なる。本稿は、『ブック』調査とは目的も違うが、この『ブック』調査において明らかになった観賞者の行動特性と、本稿で対象とする来訪者の行動との比較をすることによって、「緑のまつり」のイベント開催時におけるオープンガーデンの位置づけをより特徴づけることができる。

調査方法として来訪者に対するアンケート調査を行った。来訪者に対しアンケート票を直接手渡し、それを当日回収することにした。その箇所は図1に示す通りである。

配布する（手渡す）場所は、来訪者の町内での起点となるものが想定される町営駐車場や駅のほか、観光拠点施設とした。特にこの「緑のまつり」開催期間中に運行されるシャトルバスの切符を販売する拠点施設を網羅した。計13箇所である。これは町内を移動する来訪者を対象とするためである。総合公園では最も多

図－1 アンケート票の配布・回収場所

くのイベントが開催され、この場所のみに滞在する来訪者も多い。しかし公開庭巡りをする可能性のある来訪者を調査対象とするため、このような方法を採用した。

回収場所は、来訪者が自動車あるいは鉄道を利用することが見込まれることから、A. 千曲川ハイウェイミュージアム、B. 小布施駅、C. 町営松村駐車場に加え、町内で最も集客力のある観光拠点である北斎館の最寄りのシャトルバスのバス停である、D. 東町バス停の4箇所とした。

2. アンケート票の配布・回収

回収されたアンケートの回答数は、9月25日が143票、9月26日が132票、計275票であった。

配布場所と回収場所別のアンケート回答数は表2に示す通りである。なお25日と26日の回答数には際立った差異がみられないことから、合わせた275票の回答をもとに分析をすることとした。なおの中には小布施町民4人からの回答も含まれており、適宜、分析内容に応じて、その対象から町民を除いている。

回収されたアンケート票の配布場所では、町営松村駐車場が最も多く、次いで小布施駅、千曲川ハイウェイミュージアムとなっている。回収場所では、町営松村駐車場が最も多く、次いで東町バス停、小布施駅となっている。

配布と回収の場所から回答者の動向をみると、最も多いのは町営松村駐車場で配布・回収した回答であり、次いで小布施駅での配布・回収となっている。

なお配布数が確認できた4箇所では配布されたアンケート票のうち、いずれかの場所で回収された数をもとに回収率をみると表3のようになる。平均で21.7%の回収率となっている。この4箇所では配布したアンケート票の回収数は229票であり、全体の回収数275票の83.3%となる。したがって全体としては、概ね2割程度の回収率と推察される⁶⁾。

3. 小布施町を訪れた回数と目的

小布施町を訪れた回数では（表4）、半数近くが初めてであるが、逆に2回以上訪れている回答者が半数以上いることになり、再訪者（リピーター）が多いことが特徴である。特に5回以上である回答者が2割近くいる。

小布施町を訪れた目的では（表5）、「まち並み」が最も多く、次いで「北斎館」であった。全体でみれば、回答者の7割以上は

表－2 配布・回収場所別のアンケート回収数

	A	B	C	D	E	町役場	計
①	14(10)	1(1)	20(18)				35(29)
②	2(2)	47(31)	17(9)	3(0)			69(42)
③			18(11)	94(50)			112(61)
④			1(1)				1(1)
⑤							
⑥			1(1)				1(1)
⑦	1(0)				2(0)		3(0)
⑧		4(2)	3(2)				7(4)
⑨			3(2)	14(0)			17(2)
⑩		1(0)		2(1)		12(0)	15(1)
⑪		2(0)					2(0)
⑫							
⑬		1(0)	12(2)				13(2)
計	17(12)	56(34)	75(46)	113(51)	2(0)	12(0)	275(143)

注) 配布場所は①～⑬、回収場所AからE（図1参照）
 (カッコ)内は、25日の回収分、内数
 町役場での回収は、後日、届けられたものである。

表－3 アンケート票の回収率

配布場所	配布数	回収数	回収率 %
①千曲川ハイウェイミュージアム	210	35	16.7
②小布施駅	289	69	23.9
③町営松村駐車場	527	112	21.3
④東町バス停	29	13	44.8
計	1,055	229	21.7

「緑のまつり」に関連したイベントへの目的者ではなかった。「その他」を挙げている回答者が1/3いる。その自由記入欄を見ると、栗、栗菓子、そば、酒等の飲食を挙げている回答が多い。

オープンガーデンを目的としている回答者は約15%の42人である。後述のように、オープンガーデンの訪問は142人（小布施町民2人を除く）いる。当初、オープンガーデンを目的としていなくても、町内を遊覧している途中で公開庭を観賞している人が多いことがわかる。町内の移動する来訪者を対象とした今回の調査では、「緑のまつり」の各種イベントのうち、このオープンガーデンへの参加を目的とする回答者が最も多い。

4. 情報入手の方法

「信州おぶせ緑のかけ橋まつり」の概要情報、そしてオープンガーデンという取り組みの情報をどのように知ったのかを尋ねた（表7）。

まず「緑のまつり」では「知人・口コミ」が2割弱いて最も多い。このほか、「新聞・雑誌」「パンフ・ポスター」の順になっており、事前の情報入手の方法がわかる。また「観光案内所」も多いが、これは小布施町を訪れて知ったことになる。「知らなかった」という回答、約6%を加えると、2割の回答者が事前には知らず、小布施町に来てこのイベントが開催されていることを知ったのである。逆にみれば、イベントの開催とは関係なく、小布施町への来訪者が存在していることがわかる。

一方、特に「小布施オープンガーデン」という取り組みの情報についても、ほぼ上記と同様の入手方法の比率となっている。

表－4 小布施町の訪問回数

	回答数	%
初めて	128	47.2
2回目	39	14.4
3回目	26	9.6
4回目	17	6.3
5回以上	50	18.5
不明	11	4.1
計	271	100.0

注) 小布施町民4人を除く

表－5 小布施町を訪れた当初の目的（複数回答）

目的	回答数	%
信州おぶせ緑のかけ橋まつり		
六次産業まつり	7	2.6
オープンガーデン	42	15.5
ガーデニング大楽校	2	0.7
都市農村交流まつり	2	0.7
フローラルガーデン	24	8.9
北斎館	88	32.5
まち並み	116	42.8
その他	91	33.6
不明	11	4.1

注) 小布施町民4人を除く

表－6 オープンガーデン有無別の当初の目的（複数回答）

オープンガーデン	回答	%	他の目的	回答	%
目的としている	42	15.5	なし	13	4.8
			六次産業まつり	4	1.5
			ガーデニング大楽校	0	—
			都市農村交流まつり	2	0.7
			フローラルガーデン	10	3.7
			北斎館	12	4.4
			まち並み	12	4.4
			その他	3	1.1
目的とはしていない	218	80.4	六次産業まつり	3	1.1
			ガーデニング大楽校	2	0.7
			都市農村交流まつり	0	—
			フローラルガーデン	14	5.2
			北斎館	76	28.0
			まち並み	104	38.4
			その他	88	32.5
不明	11	4.1			
計	39	100.0			

注) 小布施町民4人を除く

5. オープンガーデンの訪問者

アンケート回答者のうちオープンガーデンによる公開庭を訪問したのは144人であった。回答者の52.0%と半数以上である。

このうち小布施町民2人を除いた142人について、小布施町及びオープンガーデンの訪問回数は表8に示す通りである。初めてオープンガーデンの公開庭を訪問した回答者は7割以上を占めている。小布施町への訪問が2回目以上の回答者は132人いるが（表4）、このうち60人が今回初めて公開庭を訪問している。オープンガーデンが、再訪者に対する行動の選択肢の重要な一つとなっていることがわかる。

次に住所と小布施町までの交通機関を整理すると表9のようになる。最も多いのは長野県の41人で3割弱を占める。次いで、新潟県、群馬県となっている。また約2/3が自家用車で小布施町を訪れていることが特徴的である。特に長野県内及び、新潟県や群馬県という隣県から自家用車で来ている。ただしこれは小布施町への交通手段であり、駐車場を併設している観光拠点間では自家用車の利用が想定されるが、オープンガーデンによる公開庭巡りは、徒歩あるいはシャトルバスの利用となる。

公開庭の訪問者が、どこでアンケート票を受け取り、返却したのかをみると（表10）、概ね配布・回収の傾向（表2）と変わらない。絶対数からみれば町営松村駐車場（表10中の配布③、回

表－7 情報入手の方法（知ったきっかけ）

入手元	緑のまつり		オープンガーデン	
	回答数	%	回答数	%
知人・口コミ	52	18.9	52	18.9
観光案内所	41	14.9	42	15.3
新聞・雑誌	33	12.0	37	13.5
パンフ・ポスター	33	12.0	31	11.3
インターネット	11	4.0	7	2.5
その他	39	14.2	44	16.0
知らなかった	17	6.2	13	4.7
不明	49	17.8	49	17.8
計	275	100.0	275	100.0

表－8 小布施町及びオープンガーデンの訪問回数

	オープンガーデン							計	%
	初	2回	3回	4回	5回	不明			
小布施町	44	-	-	-	-	-	44	31.0	
2回	18	1	-	-	-	3	22	15.5	
3回	12	4	3	-	-	-	19	13.4	
4回	6	4	1	0	-	-	11	7.7	
5回	24	7	2	2	2	1	38	26.8	
不明	1	3	1	2	1	-	8	5.6	
計	105	19	7	4	3	4	142	100.0	
%	73.9	13.4	4.9	2.8	2.1	2.8			

注) 5回は、5回以上を示す。

表－9 オープンガーデン訪問者の住所と交通機関

	自家用車	鉄道	団体バス	レンタカー	その他	不明	計	%
長野県	39	2					41	28.9
東京都	2	10					12	8.5
新潟県	14	1					15	10.6
群馬県	8	2		1			11	7.7
愛知県	3	2		2			7	4.9
千葉県	1	2			1		4	2.8
埼玉県	2	3					5	3.5
神奈川県	1						1	0.7
富山県	1						1	0.7
静岡県	1	1	1				3	2.1
茨城県	1						1	0.7
三重県	1		2				3	2.1
京都府	1	2					1	0.7
栃木県			1				1	0.7
岐阜県		1					1	0.7
福岡県	1						1	0.7
山形県	1						1	0.7
山梨県	1						1	0.7
滋賀県		1					1	0.7
不明	16	6	2	2	1	1	28	0.7
計	94	34	6	5	2	1	142	100.0
%	66.2	23.9	4.2	3.5	1.4	0.7		

注) 小布施町民2人を除く

収D)で配布・回収されたアンケート票が多い。東町バス停での回収数(表10中のC)は配布数に比べ比較的多く、これはシャトルバスで帰る際に返却しているためとみられる。

表-10 オープンガーデン訪問者の配布・回収場所

	A	B	C	D	E	町役場	計	比率
①	9	1	11				21	60.0%
②	2	21	12	1			36	52.2
③			11	50			61	54.5
④								—
⑤								—
⑥			1				1	100.0
⑦	1				1		2	66.7
⑧		1					1	14.3
⑨			1	5			6	35.3
⑩				1		6	7	46.7
⑪								—
⑫								—
⑬		1	8				9	69.2
計	12	24	44	57	1	6	144	52.4
比率	70.6	42.9	58.7	50.4	50.0	50.0	52.4	

注) 配布場所は①～⑬、回収場所AからE(図1参照)
町役場での回収は、後日、届けられたものである。
比率は回収数(表2参照)に対する比率である。

6. オープンガーデンの観賞実態

オープンガーデンを訪問したという回答者は144人いたが、そのうち具体的に観賞した公開庭の箇所を記入した回答者は55人であった(表11)。なおこの55人の同行者の数をあわせると、計157人分の観賞行動を捕捉することになる。

当初の目的をみると(表12)、オープンガーデンを目的としていた回答者は16人、約3割で、そのうち7人は公開庭の観賞を主目的として小布施町を訪れている。オープンガーデンを目的としていなかった回答者38人の目的は北斎館やまち並みなどで、「緑のまつり」に関連するイベントへの参加も目的としていない。「緑のイベント」の開催に関係なく小布施町に来て、オープンガーデンによる公開庭の観賞をしている。つまり当初の予定外の行動を採り、結果として「緑のまつり」のイベントに参加していることになる。

回答者別に観賞した公開庭数をみると、最少は1箇所、最多は13ヶ所であった。ただし7箇所以上観賞した回答者は4人しかなく、一人当たりの平均観賞公開庭数は、3.4箇所である。『ブッ

表-11 回答者別の観賞公開庭とその選定理由等

No.	回答者 【番号】	配 布	回 収	年齢	住所	訪問回数 小布施	訪問回数 OG	訪問目的 (複数回答)	1	2	3	オープンガーデン を知ったきっかけ	同行人数 (人)	交通機関	観賞公開庭 【x】内は『ブック』における公開庭番号	選定理由 1 2 3 4 5
1	2	1	A	60以上	長野県	3	3	OG	FG			知人・口コミ	5	自家用車	[64][63][60][59][58]	○
2	147	1	A	40代	長野県	3	2	OG				新聞・雑誌	2	自家用車	[37][41][31][64][63][60][59][55]	○
3	17	1	C	50代	長野県	不明	2	OG	FG			新聞・雑誌	2	自家用車	[57][56][55][61][64]	○
4	19	1	C	40代	長野県	4	2	OG	六次産業	FG		新聞・雑誌	2	自家用車	[55][56][57][64]	○
5	20	1	C	40代	長野県	3	2	OG				新聞・雑誌	3	自家用車	[46]	○
6	22	1	C	40代	長野県	3	1	OG				テレビ	3	自家用車	[38][37][39][41][64]	○
7	23	1	C	40代	長野県	4	1	OG				パンフ・ポスター	3	自家用車	[37][38][41]	○
8	24	1	C	50代	長野県	1	1	OG			まち並み	知人・口コミ	3	自家用車	[46]	○
9	149	1	C	50代	東京都	2	1	OG				その他	2	自家用車	[7][8][6][5][3][1][2][38][39][37][41][36][32]	○
10	30	2	A	40代	小布施	—	—	—				—	2	徒歩	[13][14][15][16]	○
11	33	2	B	30代	東京都	1	1	北斎館				その他*	2	鉄道	[64][63][60]	不明
12	38	2	B	20代	群馬県	1	1	その他				観光案内所*	1	鉄道	[64][60][58][59][63]	○
13	53	2	B	50代	兵庫県	1	1	北斎館		まち並み		パンフ・ポスター	1	鉄道	[57][58][59][60]	○
14	54	2	B	40代	埼玉県	3	1	その他				観光案内所	2	鉄道	[62][63][55][57][58][59]	○
15	59	2	B	50代	県外	不明	3	OG	FG			新聞・雑誌	2	自家用車	[62][63][60][59][58][57][55][54][53][51][52]	○
16	152	2	B	50代	千葉県	2	不明	OG		その他		新聞・雑誌	1	鉄道	[46][29][34][36][59][60][63]	○
17	157	2	B	40代	埼玉県	1	1	その他				その他(駅で)*	1	鉄道	[46][47][62]	○
18	158	2	B	40代	東京都	1	1	まち並み				観光案内所*	2	鉄道	[64]	不明
19	160	2	B	60以上	群馬県	1	1	まち並み				観光案内所*	2	鉄道	[58][59][60]	不明
20	164	2	B	60以上	東京都	5	4	OG				テレビ	1	鉄道	[27]	不明
21	165	2	B	不明	不明	1	1	その他				新聞・雑誌	1	鉄道	[58][59][60]	○
22	63	2	C	60以上	千葉県	2	1	その他				知人・口コミ	7	鉄道	[58][59][60][64][63]	○
23	65	2	C	不明	不明	2	不明	北斎館		まち並み		観光案内所*	7	鉄道	[61][57][58][59][60]	不明
24	66	2	C	60以上	埼玉県	1	1	まち並み				新聞・雑誌	7	鉄道	[56][60][63][64]	○
25	172	2	C	60以上	岐阜県	1	1	北斎館		まち並み		知人・口コミ	5	鉄道	[61]	不明
26	173	2	C	60以上	愛知県	5	1	北斎館		まち並み		新聞・雑誌	6	鉄道	[61][27][64]	○
27	176	2	D	60以上	愛知県	1	1	まち並み				インターネット	6	レンタカー	[58][59][60][63]	不明
28	73	3	C	40代	京都府	10	5	まち並み	その他			その他	2	自家用車	[58][59]	○
29	84	3	D	10代	群馬県	1	1	まち並み	その他			その他	4	自家用車	[64]	○
30	91	3	D	10代	長野県	1	1	北斎館				知人・口コミ	3	自家用車	[28][69]	○
31	92	3	D	50代	不明	2	不明	北斎館				知人・口コミ	3	自家用車	[64][17]	○
32	95	3	D	50代	神奈川県	1	1	OG				知らなかった*	2	自家用車	[31]	○
33	102	3	D	40代	新潟県	5	1	OG		その他		新聞・雑誌	2	自家用車	[60][59][58][41][32][36]	○
34	121	3	D	40代	新潟県	6	1	その他				その他	2	自家用車	[26][29]	○
35	127	3	D	20代	長野県	3	1	まち並み				パンフ・ポスター	2	自家用車	[58][57]	○
36	128	3	D	40代	群馬県	2	2	まち並み				パンフ・ポスター	2	自家用車	[53][58]	○
37	129	3	D	30代	群馬県	3	2	まち並み				観光案内所	2	自家用車	[61][64]	○
38	184	3	D	40代	愛知県	1	1	まち並み	その他			パンフ・ポスター	6	レンタカー	[63][60]	不明
39	185	3	D	30代	東京都	5	1	その他				インターネット	3	鉄道	[58][59][60]	○
40	186	3	D	40代	長野県	不明	1	その他				パンフ・ポスター	3	自家用車	[58][59][60]	不明
41	187	3	D	50代	長野県	5	1	まち並み				テレビ	2	自家用車	[37][41]	○
42	192	3	D	30代	群馬県	1	1	その他				パンフ・ポスター	2	自家用車	[64][60][63]	○
43	200	3	D	50代	千葉県	1	1	まち並み				その他	4	自家用車	[64]	○
44	203	3	D	60以上	長野県	1	1	北斎館		まち並み	FG	新聞・雑誌	4	自家用車	[57][56][59][60][63][64]	○
45	206	3	D	不明	不明	5	不明	OG				新聞・雑誌	2	自家用車	[64]	○
46	215	3	D	50代	新潟県	2	1	まち並み	その他			知らなかった*	3	自家用車	[55][56]	不明
47	217	3	D	30代	東京都	1	1	その他				知らなかった*	2	自家用車	[58][59][60][63][28][69]	○
48	222	3	D	30代	新潟県	5	1	その他				知らなかった*	2	自家用車	[69][28][64][63][60]	○
49	225	3	D	40代	埼玉県	1	1	北斎館				パンフ・ポスター	1	自家用車	[60][63][64]	○
50	228	7	A	30代	長野県	5	3	OG	六次産業			知人・口コミ	4	自家用車	[55]	○
51	229	7	E	30代	新潟県	2	1	その他				観光案内所	2	自家用車	[55]	不明
52	136	8	B	30代	東京都	6	1	まち並み	その他			知人・口コミ	1	鉄道	[28][69][64]	○
53	237	9	D	20代	長野県	10	1	まち並み				新聞・雑誌	2	自家用車	[28][69]	○
54	268	13	C	50代	三重県	3	1	その他				(不明)	4	自家用車	[64]	○
55	275	13	C	60以上	不明	1	1	北斎館				知人・口コミ	5	鉄道	[61]	○

注) 訪問目的では、OG:オープンガーデン、FG:小布施フローラルガーデン
オープンガーデンを知ったきっかけのうち、*印は小布施に来てからオープンガーデンを知ったことが明らかな回答者
選定理由は、1:『ブック』を見て、2:以前に行ったから、3:近くまで行ったから、4:たまたま通りかかった、5:その他

ク』調査の対象者36人の一人当たり平均観賞公開庭数が5.9箇所であるのに比べると少ない。当初、オープンガーデンによる公開庭への訪問が目的としていない回答者が多く、町内を回遊する途中で、公開庭の存在を知り、足を運んで観賞しているとみられる。当初の目的にはなかったが、小布施でオープンガーデンの存在を知り、予定外の行動をとったのである。

回答者55人が観賞した公開庭は、全64箇所のうち41箇所であり、全体の64.1%にあたる。公共駐車場、観光施設や駅から遠い公開庭へも訪れている。シャトルバスの運行効果とみることができる。

観賞者数から公開庭をみると、最多は22人の観賞者があった公開庭である。回答者の4割以上、すなわち22人以上が観賞した公開庭は〔60〕と〔64〕（以下、公開庭を特定する時は『ブック』における公開庭番号を〔 〕で示す）の2箇所であった。3割以上となる17人以上の観賞者のあった公開庭は、このほかに2箇所（〔58〕と〔59〕）あった。一方、1割以下の5人以下の観賞者数であった公開庭は32箇所あり、観賞された公開庭41箇所の78.0%を占める。観賞した公開庭に偏りがあることがわかる。

今回の調査で1人でも観賞者のあった41箇所の公開庭を地理的な分布状況からゾーン分けを行うと図2のようにA～Hの8つのゾーンに分けることができる。このうちAとBのゾーンは、それぞれ北斎館に近いが、まち並みの整備地域や地場産品の小売店や飲食店等の店舗が多く立地している地域をAゾーンとし、北斎館の裏手にあたり、一般住宅地である地域をBゾーンとしてあえて分けた。Bゾーンは、公開庭の観賞を目的としなければ、一般の観光客が来ない地域である。

このゾーン分けでより明確になったのは、特に観賞者の多かった公開庭の立地がAゾーンに集中していることである。これはAゾーン内の散策中の立ち寄りともみられる。しかし一方では、観賞

者数は少ないが、この二日間に観賞者のいた公開庭は広範囲に分布している。これらの一般住宅地への移動手段はシャトルバスの利用とみられる。また訪問するためには場所を示した地図情報が必要であり、「緑のまつり」の無料パンフレットが活用されたと考えられる。

次にこの55人の回答者が観賞した公開庭の数と、それらを巡る順序を追跡し、訪れたゾーンの数とを整理したのが表13である。これは『ブック』調査と比較して、特徴を明らかにするため、同調査（表14）での結果を参照する。

本調査では1ゾーン以内の行動者が42人、76.4%を占める。『ブック』調査に比べて、行動範囲が狭いことがわかる。しかも1ゾーン内の3箇所以下の公開庭を観賞した回答者は30名、54.5%であり、半数以上となる。一方、観賞した公開庭の数も多く、また訪問したゾーン数が5ゾーン以上の行程の回答者は一人もいなかった。

図2 公開庭別の観賞者数及びゾーン分け

表14 『ブック』調査⁴⁾における行動別対象人数（人）

箇所数		ゾーン数								計
		1	2	3	4	5	6	7	8	
1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2
2	2	2	3	1	1	1	1	1	1	5
3	0	2	2	1	1	1	1	1	1	4
4	2	1	0	1	1	1	1	1	1	4
5	2	1	1	0	1	1	1	1	1	5
6	0	1	1	0	1	0	1	1	1	3
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8～	0	1	1	1	3	1	3	2	1	12
計		9	9	5	4	3	3	2	1	36

表13 回答者別の観賞公開庭数と訪問ゾーン数

箇所数		ゾーン数								人数計
		1	2	3	4	5	6	7	8	
1	[20], [24], [84] A×, [95], [158] A×, [164], [172] A×, [200] A×, [206] A, [228] A, [229] A×, [268] A×, [275] A×	13人								13人
2	[73] A×, [91] ×, [121] ×, [127] A×, [129] A×, [184] A×, [187] ×, [215] A×, [237] ×	9人	[92] ×, [128] ×, 2人							11人
3	[23], [33] A×, [160] A×, [165] A×, [185] A×, [186] A×, [192] A×, [225] A×	8人	[136] ×, [157] ×, 2人	[173], 1人						11人
4	[19] A, [30], [53] A×, [66] A×, [176] A×	5人								5人
5	[2] A, [17] A, [38] A×, [63] A×, [65] A×	5人	[22], [222] × 2人							7人
6	[54] A×, [203] A×	2人	[102], [217] × 2人							4人
7					[152], 1人					1人
8～			[59], [149] 2人	[147], 1人						3人
人数計		42人	10人	2人	1人					55人

注・〔 〕内は回答者番号（表11参照）
・再度、同じゾーン内のオープンガーデンを訪れた時もゾーン数に加えている。
・1ゾーンに限り、A地域を訪れた場合はAとして記入した。
・当初、オープンガーデンを目的としていなかった場合は×を記入した。

1ゾーン以内の行動者のうちAゾーン内で行動している回答者が32人であり、全体の58.1%と半数以上を占めている。また1ゾーン内の行動者の76.2%である。北斎館を中心とする観光客を誘引する集客力のある地域を中心に訪問者が行動していることがわかる。特に観覧者数の多い2割以上の観覧者、すなわち11人以上の観覧者のいた5箇所の公開庭のうち3箇所は、Aゾーン内の店舗であり、観光行動の一環として、立ち寄られているとみられる。公開庭の選定理由では、特に「4.たまたま通りかかった」とする回答が多く、これを裏付けている。

具体的に公開庭の観覧者の行動をみる。なお以下、回答者を特定する時は回答者番号を【 】で示す(表11参照)。

回答者【157】は、埼玉県から鉄道で小布施に来て、アンケート票を小布施駅で受け取り、小布施駅で返している。当初の訪問目的には、オープンガーデンを含め、「緑のまつり」関連のイベントへの参加はなかった。しかし駅でオープンガーデンのあることを知り、公開庭[46][47][62]の3箇所を観覧している。その立地と行程をみると(図3)、移動距離が比較の長いことがわかる。パンフレットの情報から訪れる公開庭を選択し、シャトルバスを利用して移動しているとみられる。

また回答者【217】は、埼玉県から自家用車で小布施町を訪れ、町営松村駐車場に止め、そこでアンケート票を受け取り、返している。オープンガーデンについては知らなかったとしている。しかし公開庭は[58][59][60][63][28][69]の6箇所を観覧している。その立地と行程をみると(図4)、近くにある公開庭を順に巡っていることがわかる。特に北斎館を挟んで反対地域にある、一般住宅地の公開庭にまで足を運んでいる。観覧している

Aゾーンの公開庭から北斎館附近は、特に観光客向けの店舗が多く連なっている。移動距離は短く、徒歩で回遊している。

いずれもオープンガーデンを当初の目的としていなかった訪問者が、公開庭を観覧している。

7. 結論と考察

本稿では、来訪者の目的や行動等から、「信州おふせ緑のかけ橋まつり」の開催時における小布施オープンガーデンの意義や位置づけを明らかにした。

通年的な仕組みであるオープンガーデンを関連イベントの一つに加えることで、来訪者の行動の選択肢は確実に増えている。再訪者の約半数がこの機会に初めて公開庭にも足を延ばしている。特に比較的広範囲に一般住宅地の公開庭も観覧しており、その行動を支援するシャトルバスの運行によって、町内を回遊するという動機づけになっているとみられる。またオープンガーデンの主旨や公開庭の位置は、パンフレット等の具体的な情報媒体がないと理解はできず、この期間に提供される「緑のまつり」の無料のパンフレットはその役割を担った。

「緑のまつり」開催日での来訪者へのアンケート調査であったが、「緑のまつり」を知らないで訪れる観光客、あるいはオープンガーデンを含めた「緑のまつり」の各種イベントを目的としない観光客もいた。しかしアンケート回答者の半数はオープンガーデンによる公開庭を観覧し、結果として「緑のまつり」の参加者となった。先行研究で明らかになった通常期に比べれば、観覧した公開庭数は少なく、行動範囲も狭い。これは公開庭の観覧を主目的とした来訪者も同様である。しかし他の目的で小布施に来て、当地でイベントを知り、またオープンガーデンを知り、そして実際に公開庭に立ち寄るという、移動と観覧の行為が発生している。

このように期間限定ではあるが、シャトルバスの運行と無料パンフレットという交通手段と情報の提供が寄与し、町内外の人たちの「緑のまつり」への参加と理解において、オープンガーデンの果たした役割があった。オープンガーデンを「緑のまつり」のイベントに組み込むことによる相乗効果によって来訪者の行動が多様になり、イベントを盛り上げることになった。

付記

本研究は、ユニオン造形文化財団ならびに道路緑化保全協会から助成を受けた。記して謝意を表したい。

補注及び引用文献

- 1) 野中勝利(2002): 長野県小布施町におけるオープンガーデンの特徴と課題: ランドスケープ研究 65(5), 805-810
- 2) 相田明・進士五十八(2001): 先駆的事例を通じた我が国におけるオープンガーデンの意義: 東京農業大学農学集報 46(3), 154-165
- 3) 平田富士男ほか(2003): わが国におけるオープンガーデンの地域経済への波及効果量の把握に関する研究: ランドスケープ研究 66(5), 779-782
- 4) 野中勝利(2005): 日常的公開のオープンガーデンにおける観覧者の行動特性—小布施オープンガーデンを事例として—: 都市計画論文集 40-3, 847-852
- 5) 小布施町役場は、このイベントに際して、事前に公開庭のオーナーを対象とした説明会を開き(2004年7月29日)、開催日当日の来客への対応について理解と協力を求めている。
- 6) 配布数が確認できた4つの配布箇所以外は、日常業務の中で来訪者へのアンケート票の配布を依頼した箇所である。多忙な日常業務の中での作業であり、確定した配布実績までは捕捉できなかった。

図-3 回答者【157】の公開庭巡りの行程

図-4 回答者【217】の公開庭巡りの行程